FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2017
月刊

2月号

第314号
平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会

節分　豆まき

節分

社会福祉法人滴翠会では節分の行事が毎年各施設毎に行われ、それぞれに特色があり楽しい節分行事が行われました。

鬼が現れて豆まきをしたり、焼いたイワシの頭を柊や豆柄にさして作る『やいかがし』を飾ったり、恵方巻や福茶を頂き、日本の文化を感じながら今年一年の無病息災を願いました。

節分の翌日は立春です。暦の上では春ですが、2月に入ったばかりのこの時期は一年中で最も寒い時です。

しかし、梅の木に紅や白の花がちらほら見られたり早咲きの水仙が道端に黄色く輝いているのを見ると春は確実に近づいて来ていると感じます。

風邪や感染症に負けずに皆で元気に春を迎えられるように過ごして行きましょう。

●養護老人ホーム
滴翠苑だより
かすみがうら市横堀四五一―五
TEL 〇二九九―五九―三六三一

新年会　千代田舞踊連合会の踊り

新年会

1月26日に滴翠苑集会室で新年会が開催されました。今年は利用者の希望により甘酒で乾杯して1年の健康を祈りました。その後男性職員による毎年恒例の獅子舞を元気よく行いました。利用者の頭を噛んで、邪気を払ってくれました。

余興は、ボランティアの千代田舞踊連合会の皆様の舞踊が行われました。昔懐かしい曲に合わせて優雅な舞を披露していただきました。また、どじょうすくいの踊りはユーモアたっぷりで会場は笑いの渦となりました。演武の都度拍手喝采で皆さんとても喜んで観ていました。

今年も職員一丸となり、利用者の皆さんが喜んで、楽しめる行事を企画していきます。

業務改善手法研修

1月25日26日の2日間に渡り、茨城県総合福祉会館で業務改善手法研修を受講してきました。

1日目は、グループディスカッションをしながら、業務改善の手法を検討し学びました。2日目は、ワークショップを通じて組織での信頼、チームワークについて学びました。

その中で特に印象に残っているのは、連携の要「報・連・相」についてです。今まで「報告・連絡・相談」の順番で認識していましたが、実務で使う際には、まず相談、そのあと連絡、報告するというのが、より大切で効率が良い順番との事でした。

この研修で学んだ事を肝に銘じて業務に取り組み、これまでの業務を見直して行きたいと思います。

節　　分

節　分　祭

2月3日節分祭が行われました。

まず、集会室で苑長より節分の由来についてお話を聞き、そのあと、年男と年女の方の紹介がありました。今年は酉年の3名の方が年男年女です。その3人の方を中心に、その他有志の利用者さんで鬼チームと豆まきチームに分かれ、金棒を持って暴れている鬼に向かい「鬼は外！福は内！」と元気な声で豆をまき、鬼を払って福を呼び込みました。そのあと、福茶とフルーツゼリーを頂き、皆さんで一年の厄除けと無病息災を願いました。

庭の梅も日増しに綻び立春を感じる今日この頃です。まだまだ朝夕の寒さは厳しいですが、寒さには負けず、鳥の様に羽ばたく気持ちで一年を元気に楽しく送れますように願っています。

カラオケクラブ

滴翠苑では、週2回カラオケクラブの活動をしています。歌を歌うのは、身体にも心にも良い刺激を与えてくれます。歌が好きな利用者の方はもちろん、普段大人しい方も大きな声で歌ってくれます。周りの皆さんも手拍子で、中には踊りで会場を盛り上げてくれる方もいらっしゃいます。

感染症予防でなかなか外出するのが難しい時期で娯楽の機会が少なくなっています。歌を元気一杯に歌って、皆さん元気に心豊かになって頂きたいと思います。

❊職員研修・会議

業務改善手法研修　1月25・26日

❊2月の行事

節分祭　2月3日
お誕生会　2月28日

●救護施設

慈翠舘だより

石岡市半ノ木一一四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

節分　恵方巻き

節分

節分とは「季節の分かれ目」という意味です。旧暦では「立春」で冬が終わり、春になって新たな一年が始まると考えられていました。立春の前日の節分は特に大切にされていた行事の一つだったようです。

慈翠舘においても年男・年女の利用者代表の方が玄関を含め7か所を廻り豆まきをしました。今年は6名の方が「鬼は外・福は内」と大きな声で鬼に向って豆を投げ、「福はいっぱい来てほしいね」と何度も「福は内」と言っている方もいました。

昼食には太巻きや鰯のつみれ汁、煮物と福茶が用意されました。太巻きを食べる時には、「どこを向いて食べるの?」と恵方巻きのように方位を気にしながら無病息災を願い美味しく頂きました。

焼き餅

慈翠舘では毎年、焼き餅という行事を行っています。食堂にカセットコンロを用意し、網を敷いて皆でテーブルを囲み、お餅を焼いていきます。

お餅が焼きあがるのを待つ間、「まだかな?もう焼けてるんじゃないの?」と、膨らんで焦げ目がついていくお餅を待ち遠しく見つめていました。

お餅を喉に詰まらせないようにお茶を含んでゆっくり食べるよう説明した後、焼きあがったお餅は、磯辺ときな粉の2つの味を楽しんで頂きました。熱々のお餅に息を吹きかけながらおいしそうに食べている表情を見ると、味は格別だったようです。

焼き餅を楽しみにされている方も沢山いらっしゃいます。美味しいお餅が食べられるこの行事を来年も楽しみにしていてください。

初　　釜

初　釜

慈翠舘では毎週茶道と華道の指導が行われています。新しい年を迎え、十日に初釜を行いました。皆さん緊張した面持で臨まれていました。

茶道指導ではお茶の点て方をはじめ、礼儀作法や道具の名前などを学んでおり、お茶も一人ひとり点てていきます。

お茶の温度など加減が少し違うだけでうまく点たなかったり、手順を覚えるのに精一杯ですが、皆さんとても頑張っています。綺麗なお茶を点てられたときには「美味しそうに点てられたね」と褒め讃えられます。上達しているのを感じると、更に美味しいお茶を点てる努力をします。

美味しいお茶があれば一緒に頂くお菓子も一段と美味しく感じられます。今後も更なる精進を重ねていきます。

用水路掃除

地域の生活排水が流れる用水路に、土や枯れ葉等が詰まって流れなくなってしまった為、皆さんと力を合わせて掃除をする事になりました。

長靴を履いて溝の中に入り、落ちてしまった葉や底に溜まったし土をスコップで取り出します。用水路を綺麗にしたら、取り出した土や葉をリアカーに積んでゴミ捨て場へ捨てに行きます。急な上り坂があるので、力のある利用者さんと協力してを運びました。

これを繰り返し、数日掛けて清掃し排水もスムーズに流れる様になりました。

❊職員研修・会議

障害者虐待防止リーダー職員研修会　1月10日・11日
業務改善手法研修　1月25日・26日

❊2月の行事

焼き餅　2月2・7・14・21日
節　分　2月3日
みどり会レクリエーション　2月18日

●特別養護老人ホーム

明翠苑だより

石岡市半ノ木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六二〇

明翠苑の節分

節　分

2月3日「節分」を行いました。玄関など出入り口の五か所に、柊の枝に焼いたいわしの頭をさした「やいかがし」を飾りました。

午前中は、年男・年女の職員二名で石岡市内の常陸國総社宮へ行き、お祓いを受けてきました。総社宮からいただいてきた御札・御神酒・福豆は明翠苑の玄関のお地蔵様にお供えしました。

午後からは、各グループに年男・年女が皆さんと一緒に「福は内、鬼は外」と元気に豆をまきました。無事に鬼は去っていきました。

午後のおやつは福茶とお饅頭を召し上がっていただき、無病息災を願いました。

明翠苑には悪い鬼を寄せつけず、たくさんの福がくるよう願っています。

感染症

明翠苑では、インフルエンザやノロウイルス等の感染症対策として、手洗い・うがい・手指消毒や各居室の湿度調節を徹底して行っています。受診などの外出時は、マスクを着用して感染症の予防をしています。1月31日現在、インフルエンザにかかった利用者様が一名いらっしゃいますが、回復に向かっております。今後感染症が広がらないよう十分気を付けて支援してまいります。

図上訓練

冬期は避難訓練を中止して11月から3月まで毎月1回図上訓練を実施しています。

内容は、防災担当者を中心に消火器・消火栓・発電機などの使い方、土嚢の積み方、避難を想定しての話し合いなどです。職員一人ひとりが防災意識を高くもち、これからも利用者の皆様が安心して生活できますよう訓練してまいります。

ふぁみりー通信

1月の出来事

1月1日　年頭の辞が行われ、皆さんで新年を祝い、あいさつをかわしたり記念写真を撮りました。
1月4日　座談会を行い、改めて皆さんが集まる場で、新年のあいさつやこの時期に注意してほしい感染症予防の話しをしました。
1月7日　「春の七草」で昼食に七草粥の特別メニューを召し上がって頂き、無病息災を願いました。
1月15日　「小正月」で昼食に小豆粥を召し上がって頂き、邪気を払い一年の健康を願いました。
1月24日　「お地蔵さんの縁日」で、おやつに甘酒をお出ししました。皆さん「おいしい」と喜ばれていました。
1月30日　「図上訓練」を実施しました。改めて職員の防災意識を高めて取り組んでまいります。

明翠苑ニュース

（1月分）

面　会	73件	延98名来苑
外　出	0件	外泊1件
ショートステイ	4名	延22日利用

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

お　正　月

今年の元旦の朝は天気も良く、利用者の皆さんは日の出を窓から見ることができました。新しい年を迎え、改まった心構えをもって生活をおくってほしいと思います。

元旦は利用者の皆さんと職員が華翠会舘ホールに集まり、今年最初の行事「年頭の辞」が行われます。会長と施設長の新年の挨拶のあと、年男・年女の職員から新年の抱負が述べられ、一段と気持ちもひきしまるひと時です。

その後ホールにて全員で集合写真を撮りました。毎年記念の一枚になっています。

終了後、希望者数名で近くの葉彦神社へ初詣に行き、一年の幸福を祈願しました。

元旦の食事は、おせち料理を召し上がって頂きます。お雑煮は喉につまりやすいのでお出ししていませんがふだん常食を召し上がっている数名の方には、今回調理員が知恵を絞り、喉につまらないよう工夫されたおもちが出されました。お正月にふさわしい明るい雰囲気の中で、食事を楽しみました。

職員一同皆様の今年一年の御健康と御幸福をお祈りしています。

今年もよろしくお願いいたします。

●デイサービスセンター

華翠会舘だより

石岡市半ノ木一一四八〇
TEL〇二九九―二三―八二〇〇

今年の抱負を掲げて

デイサービス日誌　1月21日（土）

利用者数　　9名（男2名　女7名）
レクリェーション　クッキング～大根もち～

大根もちを作りました。大根の千切りとミックスベジタブル、ハム、桜エビ等を、つなぎの片栗粉で混ぜ、ホットプレートで小さな円形に焼き上げます。大根の千切りが細かな作業だったので白羽の矢が立ったのは手先が器用な方№1と№2の利用者様です。たくさんの大根もちができ、暖かいうちに昆布茶と一緒にいただきました。

デイサービス日誌　12月12日（月）

利用者数　　10名（男2名　女8名）
レクリェーション　工作～鬼の面作り～

節分に向けて鬼のお面を作りました。泣いている鬼、怒っている鬼を選んでもらい、めいめいに色を塗って鬼のお面を完成させました。出来上がったお面をかぶってポーズをとっておどけたり、子供の頃を思い出して当時の様子を話してくれる利用者様もいらしゃり、とても楽しい時間を過ごしました。

新年会

華翠会舘独自での新年会が1月17日と18日に行われました。

利用者の皆さんに新年の目標・抱負を考えていただき、紙に書いてもらいました。

健康の為、毎日の運動を日課にする人、家族に面倒をかけないよう気を付けたい人、デイサービスに元気に通うと宣言する人等、たくさんの目標や思いが書かれていました。

その後のおやつの時間では甘酒を飲みながらおみくじ大会をしました。大吉を引いた方も、末吉を引いた方も大笑いしながら文面を読まれていました。

記念に御自宅へ持ち帰られ、御家族の方とも楽しい会話ができたという声も聞かれました。

今年も笑い溢れる年になりそうです。

明翠苑居宅介護支援センターだより

石岡市半ノ木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六三四

救急車を呼ぶ前に

軽度の病気や怪我、優先的に診察してもらえるから、あるいは病院までのタクシーがわりに救急車を呼ぶ人が増えていることから、消防庁が必要性が低い利用の実態を調べることになったという新聞記事がありました。

茨城県においても救急車の出動回数はここ10年の間に25％も増え、そのうちの半数が入院などの必要がない軽症の患者だったそうです。

安易に救急車を要請する人がいるために最寄の消防署の救急車が出動中で遠くの消防署から出動することになって到着まで時間がかかったり、搬送先の病院でも重症患者の治療が遅れる事態が発生しているかもしれません。

救急車の利用については消防法で規定されており、『災害により生じた事故等による傷病者、または生命に危険を及ぼすような状況にある疾病による傷病者で、医療機関等に緊急に搬送する必要があり、搬送する為の手段がない傷病者である』とされています。

しかし、一般人には症状を見るだけでは急を要する事態かどうか判断するのは難しいと思います。明らかに普段と様子が違う場合はすぐに救急車を要請すべきだと思いますが、救急搬送すべきなのか、外来受診した方がいいのか、しばらく様子をみていいのか迷ってしまった場合にはどうしたらいいのでしょうか？

相談窓口として、都道府県や市町村に救急相談窓口があるそうです。名称や電話番号はそれぞれ異なるため事前に調べておき、電話のそばに書いておくといいと思います。

相談者の中には、救急車の過剰な出動要請がテレビや新聞などで報じられているため１１９番に通報するのを遠慮してしまう人もいると聞きます。そういう人が窓口に相談し、すぐに救急車を要請するようにと勧められて救命につながった事例もあるそうです。

救急車の有料化という案も出ているそうですが、もとはといえば前記のような軽症患者の多さやモラルの低さが原因のようです。命に関わることなので判断は難しいですが、まずは救急相談窓口へ相談してみてはいかがでしょうか？

ケアマネジャー　井川　由美子

私のMENU（メニュー）

☆豚肉のキムチ炒め

発酵食品のキムチは、腸の働きを活性化し、唐辛子は体を温めてくれます。

●材　料（２人分）

豚もも肉 120g／白菜キムチ 80g／玉ねぎ 60g
キャベツ 90g／赤ピーマン 10g／ブロッコリー 40g
サラダ油 3g

●作り方

①豚肉とキムチ、玉ねぎは食べやすい大きさに切る。
②フライパンにサラダ油を熱し、①を炒め、しっかり味をからめる。
③キャベツと赤ピーマンは、せん切りにして付け合せにする。
④ブロッコリーは、小房に分けて茹でて、付け合せにする。

慈翠舘 栄養士　池﨑久美子

今月のことば 22

心に省（かえり）みてやましい点がないならば
何を憂（うれ）い、何を怖（おそ）れる必要があろうか

【論語】

ご利用をお待ちしています

養護老人ホーム　滴翠苑
救護施設　慈翠舘
特別養護老人ホーム　明翠苑
ユニット型特別養護老人ホーム　明翠苑
ショートスティ施設　明翠苑
独立型デイサービスセンター　華翠会館
明翠苑居宅介護支援センター

職員募集中　詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医療法人高木医院
宗教法人時宗華園寺

TEKISUIKAI

社会福祉法人　滴翠会　http://tekisuikai.or.jp/